

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

まようさいだより

理念

博愛の精神・人の和・自己研鑽

目標

1. 私達は、地域みなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療を目指します。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域みなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療を目指します。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合える心をもって診療に努めます。

写真コンテスト入賞作品

風車のある花壇(ハウスデンボス) / 原 浩高

SASEBO KYOSAI HOSPITAL

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号

(代表) TEL0956-22-5136

患者紹介受付専用FAX ☎ 0120-12-2067

ホームページ

<http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通FAX電話

0956-22-6052 (代表) FAX 0956-25-0662

ごあいさつ

院長 福井 仁士

城山町の上にあった佐世保城



(写真1) 崖の左上に城の本丸がある。前方に、弓張岳と但馬岳がみえている。

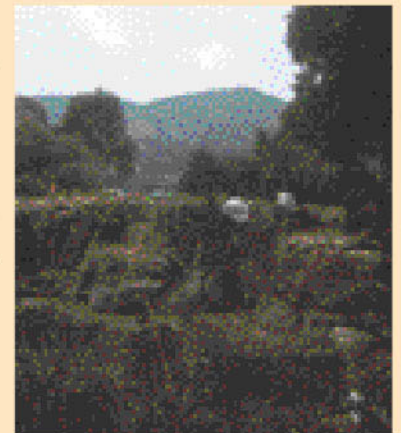
みなさんは今から500年ほど前の戦国時代から城山町の上にあった佐世保城の跡をご存じですか。私は佐世保城の城跡を訪ねようとしておりましたが、なかなかわかり難く4度目の挑戦でやっとその城跡にたどり着きました。

私がたどった道順の概略を書いておきます。亀山八幡神社の北側を左寄りに登っていき、八幡町の公民館のそばを通りさらに左側をあがっていくと切り通し(崖を削って道をつけたところ)にたどり着きます。その左側の崖をよじ登り小さな山道をさらに

進んでいくと西側の展望が開け、弓張岳や但馬岳がみえるようになります(写真1)。さらに進むと、尾根の先端に石積の壁に囲まれた狭い平地に出ます(写真2)。これが、城の本丸跡と思われる。

この佐世保城の城主は、古くは大野瀬戸越にあった大智庵城主松浦丹後守政の弟の佐世保諫(イサム)であったようです。その後、いく度か城主の変遷を経て、元龜3年(1573年)佐世保城主遠藤但馬守はだまし討ちにあい、代わって城主は赤崎伊予守となっています。但馬守は佐世保にいろいろな痕跡を残しており、弓張岳の横の但馬岳の名になっています。また、明治時代には今の城山町が一時、但馬町といわれたことがあるようです。相神浦の飯盛城の城主となった九郎親の求愛を断ったために、館を焼かれ許婚者の赤崎伊予守を求めて白蛇に化身したという遠藤但馬守の娘白縫(シラヌイ)姫の物語が佐世保に残っています。

いろいろな歴史を秘めた佐世保城ですが、今は近付くのも困難なくらい荒れ果てております。せめて、歩道を整備し立て札など立ててほしいと思いました。



(写真2) 積みあげた石垣の上に平地があり、城の本丸あとと思われる。

退職にあたって

内科部長 林田 一洋



4年の間でしたが、風光明媚で元気に溢れた佐世保の地で働かせて頂きましたことに感謝しています。米国留学時代を思い出させる街でありましたが、この度3月をもって転勤することとなりました。急性期病院に求められる医療水準を医師一人で担当することは不可能で、現在の佐世保共済病院の内科は専門分野に別れた13名の医師の集団で形成されています。更に充実した診療体制をめざすべきところでしたが、3年前より始まった臨床研修必修化による地域への医師数不足の影響を受けて、十分な医師確保ができず申し訳なく思っています。当院内科は、4月以降は新体制で佐世保地域の皆様の健康維持に貢献して参りますので、今まで以上に佐世保共済病院を宜しくお願い致します。

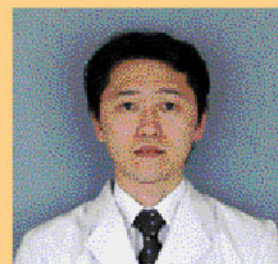
呼吸器外科の設立について

内科医長 藤澤 伸光

当院における呼吸器外科診療は平成17年10月から一時休止せざるを得なくなり、患者の皆様や患者さんをご紹介いただく先生方に、大変ご迷惑をおかけしております。この度、平成19年4月から佐賀大学胸部外科呼吸器部門より専門医一名を派遣いただくことが決まり、呼吸器外科診療が再開できる運びとなりました。呼吸器外科は原発性肺がんをはじめとする肺の悪性・良性腫瘍、気胸等の胸膜疾患、難治性感染症での肺切除や開窓術、外傷など多岐にわたる分野で活躍する部門です。

この度赴任する医師は、佐賀大学付属病院胸部外科呼吸器部門にて研鑽を積み、久留米市の新古賀病院にてチーフ等として計3年間を過ごし、多数の手術経験を持っております。現在は東京築地の国立がんセンターにて病理学の勉強をしており、以前にも増して大きな戦力になってくれるものと確信しています。呼吸器内科担当の私とは大学で一緒に仕事をしたこともあり、今後は呼吸器関連の内科・外科の連携による臨機応変の診断・治療をめざす所存です。

内科・外科どちらにでも結構ですので、呼吸器疾患の患者さんをご紹介いただきますようお願い申し上げます。



呼吸器外科医長
武田 雄二

- 出身地:熊本県
- 【平成9年】佐賀医科大学卒業
- 主な職歴
- 【平成14年】佐賀医科大学
- 【平成15年】新古賀病院
- 【平成18年】国立がんセンター
- 資格
- 日本外科学会認定医
- 所属学会
- 日本外科学会
- 日本胸部外科学会
- 日本呼吸器外科学会
- 日本心臓血管外科学会
- 日本血管外科学会
- 日本循環器学会
- 日本肺癌学会
- 日本呼吸器内視鏡学会

ストーマ外来のご紹介

WOC看護認定看護師 小宮 里美

昨年10月より、ストーマ(人工肛門)外来を開設いたしました。ストーマ造設の手術を受けるということは、それまでの排泄経路・排泄方法が変化するだけでなく、生活までも変化してしまう可能性があります。そのような問題が生じないように、手術前からオリエンテーションや位置決めを行い、手術後は1日も早く手術前の生活に近づけるようにストーマ装具の選択・ケア方法の指導などを行います。また、退院後も自宅に帰られてからの相談窓口として、より良いケア方法を共に考えていきたいと思っております。

佐世保地区のストーマの専門外来は、これまで佐世保総合病院・佐世保中央病院の2箇所しかありませんでした。昨年5月、佐世保共済病院に就職して、ストーマ造設手術が多いこと、またトラブルを抱えた術後患者の方が多くことに驚きました。そこで、当院でも専門外来を開設し、これまで相談するところがなく、諦めて生活していた方のお手伝いをさせて頂ければと思います。

外来の時間は、毎週水曜日の午後13時30分から16時30分まで(予約制)。当院で手術された患者さんだけでなく、他施設で手術された患者さんのご相談にも応じます。消化器ストーマをお持ちの方は外科外来へ、尿路ストーマをお持ちの方は泌尿器科外来へ直接、またはお電話にてご相談下さい。

※WOC(Wound Ostomy Continence)看護認定看護師

創傷・オストミー(人工肛門)・失禁看護の分野において熟練した看護技術と知識を有する者として認定された看護師(日本看護協会の定める研修を完了した後、認定試験に合格)平成19年1月現在、長崎県には5名、当院には1名が勤務しています。



ストーマ患者指導中の小宮看護師

【はじめに】

外科治療は様々な医療器具の発展と共に進歩をつづけており、低侵襲外科治療（体に侵襲の少ない外科治療）もその一環として発展しているものの一つです。

今回は、低侵襲外科手術の中でも耳にすることの多い鏡視下手術（内視鏡手術）を中心に外科診療の現況を報告します。



【当院外科での鏡視下手術の現況】

当院外科で行われている鏡視下手術は、主に腹腔鏡下胆嚢摘出術で、それに関連して腹腔鏡下総胆管切開結石摘出術も症例によって行っております。また、急性期の十二指腸潰瘍穿孔や早期の胃癌、一部の粘膜下腫瘍も適応となることがあります。肝癌治療も症例によっては腹腔鏡を応用します。消化器疾患ではありませんが、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術も行っており、まだ症例は少ないものの、後に述べるような肝炎治療、肝癌治療を考慮した、腹腔鏡下脾臓摘出術も行っております。以下に個別に説明します。

a) 腹腔鏡下胆道外科手術

腹腔鏡下胆嚢摘出術は、ほとんどの施設で標準手術となっていますが、胆管切開結石摘出術は腹腔鏡下で行うと手術が煩雑になるため、高齢者の場合は胃十二指腸カメラを用いた内視鏡下手術で乳頭部を切開して結石を取る手術を多く行っています。しかし、患者さんが若い場合、乳頭部括約筋を温存するため、あえて鏡視下手術を行う場合もあり、症例によって使い分けるようにしております。

b) 腹腔鏡下消化管手術

急性期であっても腹膜炎の進行していない十二指腸潰瘍穿孔に対する大網充填術や早期胃癌の局所切除を行っております。今後は廓清を要する早期胃癌の胃切除術や大腸癌手術、腸閉塞症手術などに適応の拡大を考えております。

c) 腹腔鏡下肝癌手術

肝臓では、解剖学的特性から血管内への気体や腫瘍細胞の入り込みを起しやすく、それを避けるために気腹を使用しない腹壁吊り上げ式の術式を採用しています。腹腔鏡下でのラジオ波肝腫瘍焼灼療法、マイクロ波熱凝固療法、肝切除術など、状況によって術式を選択しながら治療しております。



大腸癌術中写真：お腹に、5～10mmの創を4または5箇所開け、そこから、大腸癌の手術を行います。

d) 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術

腹腔鏡下手術は脊椎麻痺では難しいので、全身麻酔下に行っております。利点としては、なにより解剖学的に発生部位の確認が視覚的に容易で、メッシュ（ヘルニアの出口を塞ぐための膜）による固定が確実にできることがあげられ、15%ほどにみられる両側例では、同じ創から両側ともに治療ができます。

e) 腹腔鏡用手補助下脾臓摘出術

一般的に腹腔鏡下脾臓摘出術は脾臓腫瘍、特発性血小板減少症などが適応になります。肝硬変を併発している肝癌患者さんでは出血や感染症併発の危険があって血球減少の副作用のあるインターフェロン治療が困難となる場合があります。こうした場合に、侵襲の少ない腹腔鏡を用いた脾臓摘出術を行うことは非常に効果的です。この手術により血小板や白血球値が改善して、安全に治療を継続することができるようになり、学会でもトピックスになっています。

【今後の展望】

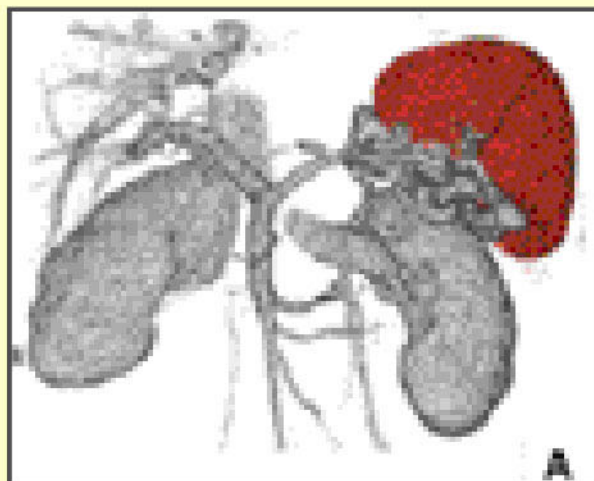
今回は鏡視下手術を中心に当院外科での低侵襲手術をお話ししてきました。症例に応じ適応の範囲が広がって行く可能性があると思われまます。2007年4月からは胸部外科の再開が決まっております、胸腔鏡下手術の症例も多くなるはずです。

【終わりに】

何が低侵襲治療かという判断は一概に出来るものではありませんが、低侵襲手術は鏡視下手術だけに限らず、患者さんのQOL(生活の質)の改善に貢献できるような治療を目指したものです。私達は常に進歩していくこの治療を実践できるよう日々研鑽したいと思っております。

■ 診療実績データ

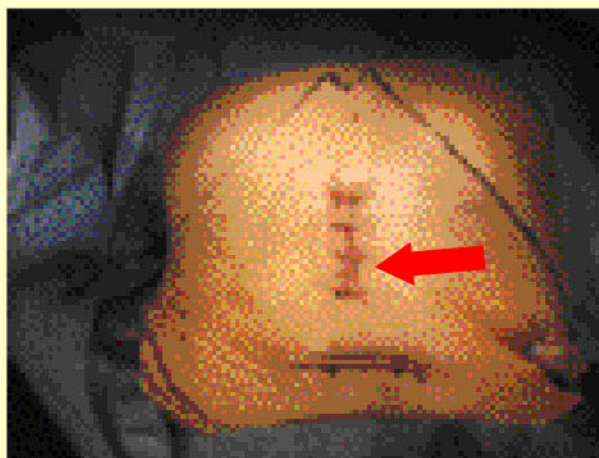
鏡視下手術症例数								
	胆嚢結石症	胆管結石症	胃十二指腸疾患	大腸疾患	肝臓	鼠径ヘルニア	脾臓	
2004年	66	1		2	2			
2005年	65	1	1	4	4	1		
2006年	65	5	2	1	2	9	2	



脾臓CT:術前にCTから3-D画像を作り出し、立体的に解剖を検討します。



脾摘術中写真:左手をお腹の中に入れ、あとは、腹腔鏡器具を利用して操作を行います。



脾摘術創:開腹手術の時は、通常、15~20cmの切開創となりますが、腹腔鏡を応用することで6~7cmの創(←)で手術が可能です。

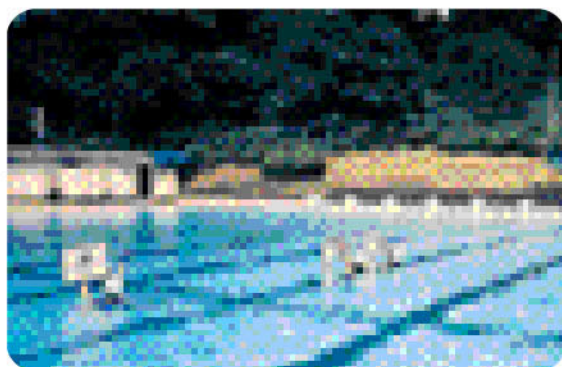
趣味を語る—小堀流踏水術— 耳鼻咽喉科医員 田浦 政彦

日本泳法には伝統と由緒ある12の流派があり、九州にも山内流、小堀流踏水術、神統流などの流派があります。私は、小学生の頃から日本泳法の練習を続けてきましたのでご紹介したいと思います。

小堀流踏水術は江戸時代初期、肥後細川藩で武芸の一つとしてまとめられた遊びで、「水を踏んで」行う立ち遊びが特徴的です。基本遊びとして、足撃遊び(浅瀬を下るときの遊び)、手操遊び(身体をひねりつつ一方の足で水を踏み、他の足の甲でけて遊ぶ)、早抜遊び(急流を横切る時の遊び)、立遊び(足を開き水を踏んで足だけで泳ぐ)などの泳法があります。手操遊びは長距離を泳いでも疲れにくく非常に実用的な泳法で、顔を水面より出して遊ぶため目標物を見失うことなく、海での遠泳に適しています。毎年夏の遠泳大会では8kmをほぼ全員完泳しています。

また芸遊びとして、御前遊び(殿様の前で遊いだのでこの名があります)、抜手遊び、浮遊び、潜泳、水書、甲冑、御前遊び、水剣、水弓、水銃などの泳法もあります。

以上のように、日本泳法は伝統と実用性がある武道の一つであり、多くの方々に興味を持っていただければ、と願っています。



水書(立ち遊びをしながらの書道)をする田浦医師(中央)

医療を支える人々 中央放射線検査科技師長 南部 信明

当放射線検査科には、診療放射線技師10名・助手5名が勤務しております。一般撮影・透視・乳房撮影・歯科パノラマ撮影・骨密度測定・移動式撮影・CT・MRI・血管造影装置を用いて検査、診療を行っております。

今回はCT・MRI・血管造影(心臓カテーテル検査)について紹介させていただきます。

■CT

CTは1日に30~35件の検査を行っております。

当院のCTはMDCT(多列検出器CT)と呼ばれる機種です。従来のCTより速く、精密な検査が行えます。それでも現在ではより多列化されたCTも開発されておりますので、近い将来に上位機種に更新する予定です。



放射線検査科スタッフ(後列左から4人目が南部技師長)

■MRI

MRI(磁気共鳴画像診断装置)は磁気とラジオ波を利用して撮影する装置です。CTと違い放射線被曝が無く、さらに任意方向の断面が撮影できます。しかし、1件の検査に30分~1時間を要するため、通常検査時間外にも撮影を行っておりますが1日12~13件の検査しかできないのが問題点です。

■血管造影・心臓カテーテル検査

検査は放射線科、循環器内科、脳神経外科、血管外科の医師により行われます。

大腿や腕の動脈から数ミリの細い管(カテーテル)を挿入し目的部位まで管を進め、撮影、治療を行います。以前は診断目的が主でしたが、現在は血管内治療も増加しております。当院では平成17年9月に最新式の血管撮影装置に更新しました。

以上のように我々の業務が「診療の一役」を担っているという自覚の下に、日々研鑽いたしております。





森山小児科医院

佐世保市早岐1丁目13-17
(0956)38-2345

院長 太田貞之先生

今回はいつもご紹介いただいている太田貞之先生をお尋ねしました。



Q 当院との御縁は？

A 昭和39年にインターンで1年間お世話になった後、一旦大学へ戻ったのですが、当時副院長でもあった熊本大学の先輩、縣(あがた)鴨次郎先生に誘われて昭和48年に共済病院に就職し6年ほど在籍しました。縣先生は患者さんに対し丁寧に説明をする熱心な先生で、翌日の診察を受けるのに深夜から順番待ちが出るほど人気がありました。

Q 当院での思い出は？

A 当時の共済病院の医師総数は20人ほどで、私が採用された後、すぐにもう2人が派遣され小児科は5人体制になりました。ちょうど若手が増えてきた時期で、病院が活気づいていたのを覚えています。皆でバーベキューやボウリング大会、月見や海水浴に行ったりもしました。

Q 森山小児科医院の特色は？

A 診察の際には治療だけでなく、日々の生活指導、しつけ、我慢する心を子供に教えつつ母親の教育にも力を入れています。

Q 当院に対するご注文は？

A 深夜にも患者さんを紹介することがあり、岡先生をはじめ小児科の先生方には大変お世話になっております。また、紹介に対する返事も細かく丁寧に書いてあり参考にさせていただきます。



太田先生とスタッフの皆さん(右端は女医の小松博子先生)

インタビュー当日も遅くまで患者さんが待っていらっしゃいました。お忙しいところ時間を割いていただきありがとうございました。

インタビューアー/小児科部長・岡 尚記

TOPICS ~暴漢逮捕で感謝状~

平成18年11月17日(金)の夕刻、酒に酔った男性が当院1階のロビーで暴れているとの連絡が入ったため、当院保安係の村田庶務課員が現場に駆けつけたところ、男性は村田課員に暴言を吐き、隠し持っていた包丁を出して脅そうとしてきました。しかし、村田課員がその場で男性を取り押さえ、駆けつけた警察に引き渡して無事に事態は収拾。病院内での出来事に辺りは一時騒然となりましたが、幸いケガ人もなく、関係者もホッと一安心でした。

後日、村田課員の犯人逮捕協力に対して、佐世保警察署長より感謝状と楯が授与されました。(写真参照)

今回は村田課員の活躍で大事には至りませんでした。今後の保安体制のより一層の充実を図る必要があることを認識させられました。



佐世保警察署長より感謝状を受ける村田課員

編集後記

今年は異例の暖冬で、あまり冬を感じないまま春を迎えようとしています。この温暖化を始めとする大雨、日照不足、冷夏などの異常気象は人類の進化してきた工業化、文明化の代償です。今こそ一人ひとりが環境問題に真剣に取り組まなくてはならない時期に来ていると思います。近頃の移動は歩いたり自転車を使う、冷暖房の設定温度を控えるなどできることから実行していきたいものです。

編集委員 森 博紀

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	部長	岡村 秀樹		●		●					●		血液疾患
	医長	松見 里美	●			●					●		消化器疾患
	"	野口 誠司	●	●				●					肝臓・胆嚢・膵臓疾患・消化器疾患
	"	金子 武生	●			●					●		循環器疾患
	"	藤澤 伸光	●			●					●		呼吸器疾患
	"	村上謹士郎		●				●			●		循環器疾患
	"	久間 文明		●		●		●					循環器疾患
	"	原口総一郎	●					●			●		腎臓疾患
	"	松永 圭司		●							●		消化器疾患
	医員	宮原 貢一	●					●					消化器疾患
	"	伊地知佳世		●				●					呼吸器疾患
	"	中野 良					●				●		消化器疾患
		糖尿病教室			●		●		●		●		※詳細は内科外来へお尋ね下さい。
小児科	部長	岡 尚記	●		●						●		小児一般
	医長	合田 裕治	●			●		●					小児アレルギー疾患
	医員	池田 修三		●			●				▲		気管支喘息
	"	蓮把 朋之	▲			●					●		※▲は未熟児回診後の診療のため、開始時間が遅れます。
	乳児健診	健 診			●								火曜 PM1:00~
	慢性外来	外 来					●						水曜 PM2:00~
	喘息外来	外 来							●				木曜 PM2:00~
外科	外科顧問	松永 章							●				内視鏡下外科・一般外科・消化器外科
	部長	松本 敦	●			●		●					内視鏡下外科・一般外科・消化器外科
	医長	澤田健太郎	●			●							血管外科・一般外科
	"	川畑 方博		●						●			一般外科・肝胆膵外科
	"	原田 洋		●							●		一般外科・消化器・乳腺外科
	"	武田 雄二		●							●		呼吸器外科
	医員	勝本 充	●			●							一般外科・消化器外科 ★
	"	磯邊 太郎							●				一般外科・消化器外科 ★
"	五反田幸人											一般外科	
													※月曜～金曜の午後は手術 ※乳癌検診は、10時までに 受付を行って下さい。 ※詳細は外科外来へお尋ね 下さい。 ★・5/31退職予定
脳神経外科	院長	福井 仁士	●			●							脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科
	部長	金子 陽一							●	●			小児の神経外科、顔面痙攣、三叉神経痛の外科手術
	医員	井上 大輔	●						●				小児脳神経外科
神経内科	医員	高倉 由佳								●			神経内科疾患一般 (要予約)
整形外科	診療部長	萩原 博嗣	●			●				●			骨関節疾患全般
	医長	久我 尚之		●		●		●					・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術
	"	寺本 全男	●						●	●			・膝・肩・手・肘の鏡視下手術
	医員	花田麻須大	●	●						●	●		・脊椎外科、腰部疾患手術
	"	田中 智顕		●					●	●			・肩・手の外科
	"	中川 憲之	●	●	●								・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など
"	河村 好香											・骨・軟部腫瘍	
皮膚科	医長	中房 淳司	●	●	●	●		●	(●)	●			湿疹、アレルギー性皮膚炎、皮膚感染症、爪・毛疾患
	医員	佐田明日香	●	●	●	●		●	(●)	●			皮膚小手術(火・水・金の午後) ※木曜の午後は隔週交代で診療
泌尿器科	部長	山田 潤	●			●				●			尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患
	医長	犬塚 周		●				●		●			体外衝撃波結石破砕術(ESWL)
	"	高橋 元		●		●							尿失禁、尿路感染
	"	中村 貴生	●					●					
産婦人科	副院長	木寺 義郎	●			●				●			産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	医長	鶴地 伸宏	●	■		●		●					体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術
	"	新谷 可伸		●		●■		■		●			更年期・婦人科疾患
	医員	梅崎 美奈	●		●			●		■			※●：婦人科診療日 ■：産科診療日
	"	岩永 巖	●■			●■				●			
眼科	医長	宇野 英明	●	●	●	●	●	●	●	●			白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術
	医員	小山田 剛	●	●	●	●	●	●	●	●			翼状片手術、レーザー光凝固術、眼瞼痙攣のボツリヌス注射など ※水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
耳鼻咽喉科	医長	佐藤 公治	●	●	●	●	●	●	●	●			アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	渡辺 智	●	●	●	●	●	●	●	●			耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	医長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	角 明子										消化管造影、内視鏡検査	
	"	土橋 一代										内視鏡下手術(ポリープ切除)	
麻酔科	医長	深野 拓	●			●		●					月～金午前ペイン外来
	"	吉村 真紀		●						●			月～金午後は手術麻酔
	医員	鶴瀬 匡祐	●	●		●		●		●			
	"	木本 文子				●		●					
	"	別府 幸岐	●								●		
"	小野 春奈	●	●							●			
歯科・口腔外科	医長	川村 英司	●	●	●	●	●	●	●	●	●		歯科・口腔外科(紹介患者のみ新患受付) 顎変形症(外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マウスピースなど